

思い出を形に 点描画の「卒業制作」

令和4年1月26日(水) 6校時 3年2組21名(男子12名 女子9名)

1 単元について

- 本単元は〔思考力、判断力、表現力等〕「A 表現・イ」の内容に基づき、設定した。中学校学習指導要領には次のように記されている。

- ア 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会との関わりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。
- イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。

(1) 単元観

本単元は、大切な思い出や景色を形に表して伝えるためにはどのような表現ができるか、という課題を投げかけている。中学校生活の思い出を主題として、点描画による「卒業制作」を題材として設定し、ICTを活用して構成や材料を工夫して表現する事で個人的なイメージの状態であった「思い出」を映像化しやすくすることができる。また、写真などの材料を基に点描画で作画した作品を、制作後にスライドにまとめることで、制作物を互いに鑑賞でき、思いを伝えて分かちあい、共有するのに適した教材である。

(2) 生徒観

本学年の生徒が、7月時点でクロームブックを使用して、スライドに写真を挿入する機能を理解して、一人で使える割合は5%であったのに対し、12月時点では75%まで上昇している。また事前に行ったアンケート(令和3年12月22日実施、41名回答、1名欠席)では、「クロームブックで写真撮影しスライドに挿入しトリミング、編集できる。」の問いに対する解答のうち「楽しんで出来る」の回答の割合は63.6%、「教えて貰いながらできる」の回答の割合は36.4%「できない」の回答の割合は0%であった。この事から、ICTを活用しての写真撮影や編集作業に対して積極的に行える生徒は7割程度おり、それ以外の生徒も、教えて貰えば出来ると、肯定的に捉えていることが解った。美術科の授業では、ICTを活用した写真撮影や編集作業に積極的に参加し、画像検索したり、合成したり工夫して楽しく行える割合が増している。

(3) 指導観

本単元では、中学校生活の思い出を主題として、写真を撮影したり画像を編集したりしたものを材料として点描画を制作し、「卒業制作」として、イメージを形にして共有する事を目的としている。生徒はICTを活用した写真撮影や編集作業に肯定的で、積極的に楽しく行える割合が増しており、教え合いながら、お互いの活動が同時に確認でき、参考にして制作できるGoogleスライドを用いて構図を考えさせ、構想させたい。また、スライドで制作した他の人の作品を参考にしながら思考し「改善する作業」を通して、卒業制作の作品の意図をより良く伝えることが出来るように表現させ、思考力・判断力・表現力を身に付けさせたい。さらに点描画の作品を制作し作画でグラデーションの技法を用いる際や、背景に組み合わせる文字や画像の配置確認など、視覚的な補助としてICTを活用して考えさせ、思考力・判断力・表現力を身に付けさせたい。

(4) 単元の目標

- 点描画の技法を理解し、「卒業制作」の意図を踏まえて、表現技法を工夫し、創造的に表すことができる。
【ア.知識・技能】
- 思い出に残る作品の制作を目指し、「卒業制作」の意図を踏まえて、自分の表現方法を工夫し、構成したり表現したりできる。
【イ.思考・判断・表現】
- 「卒業制作」の意図を踏まえて、材料となる写真撮影や、資料収集を行い、スライドに編集しながら、クラス全体と完成イメージを共有して制作をすることができる。
【ウ.主体的に学習に取り組む態度】

(5) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、次の資質・能力の育成に重点を置いている。

①言語・数量・情報 ②問題解決力 ③情報活用力 ④コミュニケーション能力 ⑤主体性・協調性

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

③ 情報活用力

本単元では、思い出に残る作品の制作の材料を用意するにあたり、「卒業制作」の意図に応じた映像材料を収集するために、フィールドワークを行う。クロームブックを使用し、自ら写真撮影をしたり、インターネットを使用して、映像を編集、構成したりして、自身の作品の構図を分かりやすく伝えることを目的としている。この目的の達成のために、撮影機能や、映像編集の技術、共有ドライブの機能を理解させ、活用させながら情報活用力を伸ばしたい。

⑤ 主体性・協調性

本単元では、点描画による「卒業制作」の作業に入る前に、各自が撮影し収集した写真映像の中から、取捨選択して、完成作品のイメージの基となるスライドを制作する。学年全員が一斉に編集できるスライドと、共有ドライブの機能を使用して、写真や映像を交換したり話し合ったりしながら、点描画による作品制作の準備を行う。この活動の中で、「卒業制作」という、共有する課題の意義を理解させ、共同で制作しながら、主体性・協調性を持って学習に取り組ませたい。

2 単元の評価規準

観点	ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①光と色を白黒のグラデーションやコントラストの表現で表すことを理解している。 ②光と色を白黒のグラデーションやコントラストの表現を工夫して点描画を制作している。	①自分の考えやイメージが明確になるように、写真や映像を編集したり組み合わせたりして構図を考えることができる。 ②写真や映像を編集したり組み合わせたり工夫して、テーマにふさわしい構図で描くことができる。	①自分の考えやイメージを分かりやすく伝えるために構図やテーマについて構想し、積極的に伝えようとしている。 ②自分の制作の材料をICTやインターネットを活用して、取捨選択し構図を工夫して具体的に描こうとしている。

3 指導計画（9時間）

次時	学習活動	指導上の留意点（○） 予想される生徒の反応（・）	評価規準 【観点】（評価方法）
一 1	<p>【単元を貫く課題】「思い出に残る作品」を構成や材料を工夫して表現し、点描画による卒業制作を共有しよう。</p>		
	<p>1. 鑑賞活動をする。</p> <p>2. 本時の学習課題の確認</p>	<p>○先輩が制作した、これまでの卒業作品集を鑑賞し、卒業をテーマとした様々な作品の例から、「思い出」を分かりやすく伝えるために、3つのポイント（①作品制作の準備 ②構図の良さ ③点描画の技能）で感じとるよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の図案があるから参考にして、野球のユニフォームを着て写真を撮ろう。 ・友達と写真をとっている作品があるので友達と一緒に話して決めたい。 ・写真を撮って見ないと解らない。 ・何を書くか思い浮かばない。 	
	<p>めあて：「思い出」を形に 卒業制作を企画書に構想できる。</p>		
	<p>3. 作品制作の企画書を書く。</p> <p>4. 振り返り</p>	<p>○自らの作品制作について構想する。自分の作品に必要な材料が何か思考ツール「くまで型」チャートを用いて言語で書き出し企画書を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動写真など具体的な映像をイメージする。 ・友達と撮影する場所を考える。 <p>○タブレット、PC などを使用して材料となる写真撮影を撮影する事を予告し、構想が具体化できるように次時の活動を予定しながら、振り返りシートに記入させる。</p>	<p>【イ①】 ワークシート</p> <p>【ウ①】 振り返りシート)</p>

		めあて：卒業制作の材料を撮影する為に話し合っ予定を立てることができる。	
二	2	<p>1. 本時の学習課題の確認</p> <p>2. 話し合い活動をする。</p> <p>3. ワークシートに記入する。</p> <p>4. ICTの活用方法を確認する。</p> <p>5. (まとめ) 振り返り</p>	<p>○卒業制作の材料集めの為に話し合うべき3つのポイントを確認する。 ①テーマ ②撮影場所や撮影物 ③構図</p> <p>○自分の作品の構図に必要な材料をタブレットを使用して撮影することを踏まえて撮影場所などについて話し合い活動をする。 ○友達と団体で撮影したり, 少人数で互いを撮ったりするために, 場所や準備物, 時間帯など, 細かく打ち合わせて共同しなければいけないことを確認する。</p> <p>○ワークシートの企画書に何を撮影するか記入する。 ・部活動の用具 ・階段や校舎 ・行事の写真探しをして決める</p> <p>○クロームブックでの写真撮影の方法を確認する。</p> <p>○自分の作品の構想のために3つのポイントでどのような作業が必要になるか確認させ, まとめさせ, 振り返らせる。</p>
			<p>【イ①】 ワークシート</p> <p>【ウ①】 (振り返りシート)</p>

三	3	1. 本時の学習課題の確認	○自分のイメージしている「卒業制作」の図案に必要な写真をフィールドワークで撮影することを確認する。	【イ①】 クロームブック 写真撮影
		めあて：フィールドワークにより卒業制作の材料を撮影しよう。		
		2. フィールドワークにより卒業制作の材料を撮影する。	○前時に学習した3つのポイントを踏まえ撮影するよう確認する。 ①テーマ ②撮影場所や撮影物 ③構図 ・黒板アートを描いて撮影したい ・屋上で撮影したい ・部活動のユニフォームで撮影したい ・動画からキャプチャーしたい ○事前に3学年の卒業制作の為のフィールドワークを校内全域で行うことを他の教職員と連携しておき、立ち入れない場所と立ち入れる場所について、しっかり指示しておく。 また、撮影場所の監督に付く。	
		3. クロームブック内の共有ドライブにフォルダを作成し写真を保存する。	○クロームブック内の共有ドライブにフォルダを作成させ、クラスの人と画像を交換したり共有できることを理解させる。 ・時間内に撮影できなかった材料を放課後撮影したい。 ・インターネットでも検索したい。	
		4. 次時の学習を確認する。	○次時は、撮影した「卒業制作」の材料をスライドで挿入・トリミング・編集し、インターネットでも検索しながら、構図を固めていくことを予告する。	
5. (まとめ) 振り返り	○「卒業制作」の3つのポイントを確認して撮影で用意できた事や次回行いたいことを考えてまとめさせ振り返らせる。	【ウ①】 (振り返りシート)		

四	4	1. 既習事項の確認	○クロームブック内の共有ドライブにフォルダを作成し、写真を保存してあることを確認する。		
		2. 本時の学習課題の確認			
		めあて：「卒業制作」の材料写真をスライドで編集し、イメージを形にしよう。			
		3. クロームブックのスライドで編集する。	○クロームブックのスライドで、収集した写真を編集させる。 ○インターネットで検索し、桜や光の効果など、自分の作品イメージに合った素材を合成したり、トリミングしたりする方法を確認する。 ・背景を透過した映像を合成したいから検索して使用許可のあるものを選ぶ。 ・好きな言葉や歌詞などを背景の構図に加えて工夫しよう。 ・フリーイラストを合成したいがダウンロードの方法と保存場所からの貼り付けは教わりながら行いたい。 ・検索は出来たけれど挿入が解らない。	【イ①】 (Google スライド) 【ウ②】 (Google スライド)	
		4. クラス全員が同時に編集し観察できる、スライドの特性を生かして参考にする。	○クラス全員のデザインを編集時にリアルタイムで観察したり、共有ドライブで画像交換したりして、それぞれにどんな構想を練っているのかを参考にさせながら、自分の構図を考えさせる。	【ア①】 ワークシート	
		5. 点描画のワークシートで練習する	○点描画の描き方の練習課題を一斉に行い画像を点描画にした場合のイメージを持たせると同時に、点描画の技法を理解させる。		
6. まとめ	○次時にスライドでの構図の発表を行う事を踏まえて自分の構想をまとめさせる。				

五 (本時)	5	1. 本時の学習課題の確認	○卒業制作は最終的には点描画による制作であり、その構想の手段として、スライドによる写真編集を行っていることを押さえる。 また、出来上がった点描画をスライドに貼り学年全員の作品が「卒業作品集」としてDVD-Rで配布になることを押さえ、共有、共同の意識を高める。	
		めあて：他の人の作品を参考にして自分の作品の写真や文字の構図を改善しよう		
		2. 隣のクラスのスライドを鑑賞する。	○隣のクラスのスライドを鑑賞させ、解説しながら、編集についての良さや、改善点について、発表のポイントの参考にさせる。 ・映画のフィルムのような枠はインターネット検索した画像かな。 ・背景の花の合成が良い。	
		3. スライドに編集した卒業制作の構想写真を発表し共有する。	○卒業制作の意図を意識して構図を工夫したポイントを分かりやすく伝えるための3つの観点(①テーマ ②撮影場所・材料 ③構図の良さ)に注意して発表させる。	
		4. 発表作品を参考にしてワークシートに記入する。	○他の人の画像編集の構想を鑑賞して、次の2つについてまとめさせる。 ①参考になった点 ②自分の画像の改善点	
		5. クロームブックの Google スライドを用いて、自分の画像を改善する。	○ワークシートにまとめた①参考点や②改善点を踏まえて Google スライドを用いて、自分の画像を改善させる。	【イ①】 ワークシート (Google スライド)
		6. 振り返り	○他の人のスライド発表を参考にして、自分の構想した映像をどのように改善したか、振り返らせる。	
六	6	1. 本時の学習課題の確認		
		めあて：「卒業制作」の構図をトレースし描こう。		
		2. 各自が編集した図案の印刷物をトレーシングペーパーに写し取る。	○レイアウトが決定していることを確認しながら輪郭がズレないようにしっかり写すよう指示する。	【イ①】 (ワークシート)
		3. 点描画の本番用紙に写す準備をする。	○本番用紙に転写する方法を一斉に指導し理解させる。	【ア①】 作品制作

七	7	1. 本時の学習課題の確認	○自分の点描画の進捗を確認し制作の見通しを持たせる。	【ア②】 作品制作
		めあて：「卒業制作」を点描画で描こう。		
		2. グラデーションの表現を確認して点描をする。	○クロームブックで Google スライドを確認させ作品の立体感が伝わるように、濃淡をグラデーションで表現できるよう工夫させる。 ○より良い作品制作を目指す。	
八	8	1. 本時の学習課題の確認	○自分の作品を美しく、分かりやすく伝えるための構図に注意して制作の見通しを持たせる。	【ア①】 作品制作
		めあて：「卒業制作」を点描画で立体的に描き、文字なども加えよう。		
		2. どんな文字や背景が必要か考え書き加える。	○作品の完成に向け書き加える文字や文章、背景などを工夫させる。 ○自分や他の人のレイアウトや点描表現の優れた点をまとめさせる。	
		3. まとめ		
九	9	1. 本時の学習課題の確認	○自分の作品を美しく、分かりやすく伝えるため点描画のグラデーションの技法を丁寧に行うよう確認する。	【ア②】 作品制作
		めあて：思い出を形にし「卒業制作」を完成させよう。		
		2. 前回加えた文字や背景を改良し点描作品の完成を行う。	○より良い作品にするにはどう改良すれば良いか考えさせる。 ○前回の加筆を生かして、制作を行う。	
		3. 単元のまとめ	○自分の作品の魅力を伝えるためにはどんな工夫が必要だったか、また、「卒業制作」を共有して、どんな成果があったかを考えさせる。	【ウ①】 (振り返りシート)

4 本時の展開 (5/9時間)

(1) 本時の目標

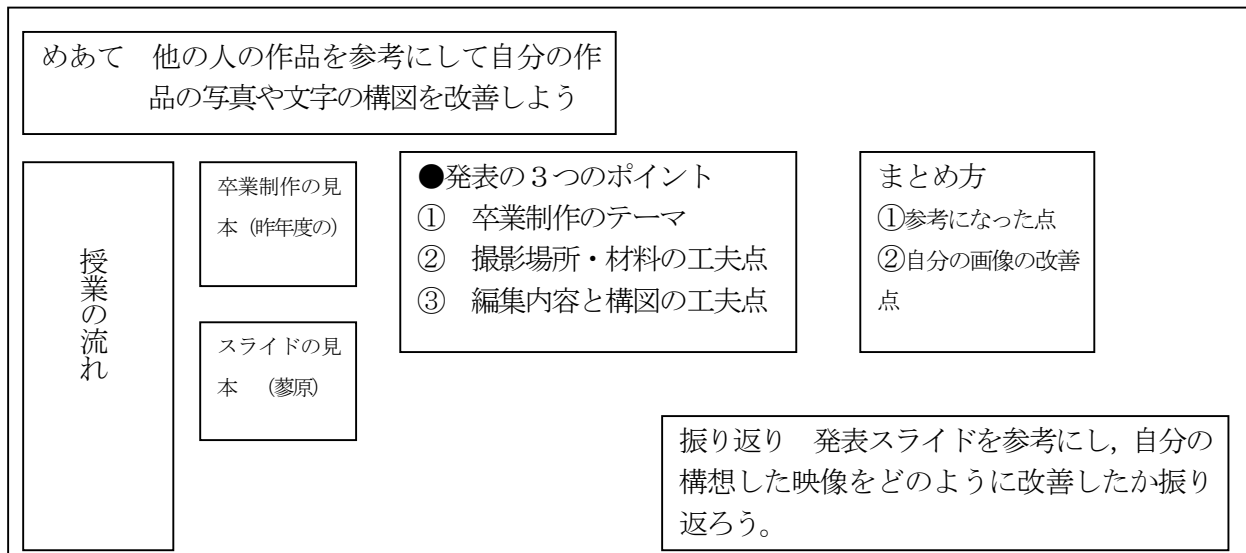
○卒業制作の意図を踏まえて撮影、編集したスライドの構想を、図案として分かりやすく伝えるために表現し改善できる。

(2) 観点別評価規準

イ①自分の考えやイメージが明確になるように、写真や映像を編集したり組み合わせたりして構図を考えることができる。

十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する生徒への手だて (C)
<p>自分の卒業制作の意図を分かりやすく伝えるため次の3つのポイントを押さえて (①テーマ ②撮影場所・材料の工夫 ③構図の良さ) 工夫して編集している。尚且つ他の人の作品の良さを参考に改善し、より良い構図で表現をしている。</p>	<p>自分の卒業制作の意図を分かりやすく伝えるための3つのポイントを理解し、それらのポイントをおさえた構図で表現ができている。</p>	<p>自分の卒業制作の意図を分かりやすく伝えるための3つのポイントをおさえた編集・表現ができていない。</p>
<p>例1 卒業制作の意図を分かりやすく伝えるため次の3つのポイントを押さえて (①テーマ ②撮影場所・材料の工夫 ③構図の良さ) ・ワークシートに画像の意図が書いている。あるいは変更しない場合の理由が書いている。(例: インスタグラムの画面のような構成で文字と画像の配置を決定し終えているので画像の場所変更は行わないことにした。) ・写真編集した・画像が自分の意図に沿って改善されている。</p>	<p>例1 卒業制作の意図を分かりやすく伝えるため次の3つのポイントを押さえて (①テーマ ②撮影場所・材料の工夫 ③構図の良さ) ・ワークシートに画像の意図が書いているが、画像が自分の意図に沿って改善されていない。もしくは、画像は改善されているが、それをワークシートに書けていない。</p>	<p>例1 改善のワークシート、画像改善どちらともできていない。 ・ワークシートに改善のまとめ方の文例を示し自分の制作意図をまとめやすくさせる。 ・先んじて隣のクラスの画像編集内容をスライドで確認させ、他の人の構図の工夫点に注目させる。自分の構想を分かりやすく伝えるためには、構図をどのように見せると良いか、他の人が画像改善を行っているスライドの画像の様子を見せて思考させる。</p>

(3) 板書計画



(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される生徒の反応 (・)	評価規準 (評価方法) 配慮を要する生徒への支援 (◆)
1. 本時の学習課題の確認をする。	○卒業制作は最終的には点描画による制作であり、その構想の手段として、スライドによる写真編集を行っている事を押さえる。	
めあて：他の人の作品を参考にして自分の作品の写真や文字の構図を改善しよう。		
2. 隣のクラスのスライドを鑑賞する。	○隣のクラスのスライドを鑑賞させ、解説しながら、編集についての良さや、改善点について、考えさせる。その際、 発表の3つのポイントを視点として与える。(ワークシート) ① 卒業制作のテーマ ② 撮影場所・材料の工夫点 ③ 編集内容・構図の工夫点	
3. スライドに編集した卒業制作の構想写真を発表し共有する。	・映画のフィルムのような枠はインターネット検索した画像かな。 ・背景の花の合成が大きすぎるからトリミングするといひ。 ○卒業制作の意図を意識して構図を工夫したポイントを分かりやすく伝えるための3つの観点 (①テーマ ②撮影場所・材料 ③構図の良さ) に注意して発表させる。 ○発表中は全員がモニターを注目し集中できるようにクロームブックは閉じておくよう指導する。 ○2. 3名指名し作品に対する意見や、アドバイスを述べさせる。 ・この作品の文字を、もっと大きくすればバランスがいい。 ・もう少し人物を拡大すれば見えやすい。	◆発表を行う前に、自分の意見を相手に分かりやすく伝えるための3つのポイントを再確認させる。 ◆原稿無しの発表に困難がある生徒もいるため発表原稿を用いて発表する。 ◆Google スライドを用いることで発表の補助とする。
4. 発表作品を参考にしてワークシートに記入する。	○他の人の画像編集の構想を鑑賞して、次の2点についてまとめさせる。 ①参考になった点 ②自分の画像の改善点	
5. クロームブックの Google スライドを用いて、自分の画像を改善する	○ワークシートにまとめた①参考点や②改善点を踏まえて Google スライドを用いて、自分の画像を改善させる。	【イ①】 ワークシート ◆改善のまとめ方の文例を示し自分の制作意図をまとめやすくさせる。 Google スライド に意図に沿って編集している。
はじめは背景に文字だけを入れていたけれど、歌詞を入れて周りを飾りで囲んで工夫している人が良いと思ったので、黒のままだった卒業の文字の色を明るい色に変えて、場所も変えた。人物が小さいと感じたので大きくしてバランスを改善した。		
6. 振り返り		◆すぐに改善点が見つけれない場合にもスライドで他の人が編集していく過程を鑑賞させる。

**瀬戸田シン
キングタイム**

※□囲みで示した活動が、本時におけるシンキングタイムである。